

2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ
 コード番号 4820 URL <https://emsystems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 國光 宏昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 関 めぐみ TEL 06-6397-1888
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	12,491	20.3	2,113	80.3	2,457	39.5	1,644	31.4
2021年12月期第3四半期	10,386	—	1,172	—	1,762	—	1,251	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 1,688百万円 (32.2%) 2021年12月期第3四半期 1,277百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	23.21	23.13
2021年12月期第3四半期	17.60	17.55

(注) 当社は、2020年6月16日開催の第37期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認され、2020年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、2020年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	25,044	19,203	76.3
2021年12月期	24,809	18,826	75.5

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 19,120百万円 2021年12月期 18,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	4.00	—	7.00	11.00
2022年12月期	—	4.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	7.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,436	13.9	2,431	30.0	2,977	14.2	2,063	12.8	29.07

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	74,514,800株	2021年12月期	74,514,800株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	3,906,949株	2021年12月期	3,335,617株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	70,851,772株	2021年12月期3Q	71,089,094株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス変異株の影響により感染者の一時急増が見られましたが、ワクチン接種などの進行により、経済社会活動が正常化へ向けて進んでおります。一方、ウクライナ情勢の長期化や外国為替市場の急激な円安進行に伴う全面的な資源高、物価上昇など景気を下押しするリスクも高くなり、引き続き予断を許さない状況で推移しております。

当社グループの主要取引先である薬局業界におきましては、2022年4月の医療制度改定が後押しに、医療機関などの窓口でマイナンバーカードまたは健康保険証により、オンラインにて資格情報を確認できるシステムの導入が2023年4月の原則義務化に向け、加速しております。更に、2023年1月よりオンライン資格確認システムを利用し、現在紙で行われている処方箋の運用を電子で実施する仕組の開始など医療分野のデジタル化に対応する動きがより一層強まります。その中、当社グループはオンライン資格確認システム設置に必要な部材、人員を確保のうえ、導入予定のお客様への設置を拡大しております。

また当社グループは介護/福祉事業向けの業務支援システム「MAPs for NURSING CARE」を発売しました。クラウド型の本システムは現行製品よりも優れた機能を搭載する予定で、ロケーションを選ばず、低価格が実現できるため、発売後の導入が順調に進んでおります。「MAPs for NURSING CARE」の発売により、当社グループの次世代製品MAPsシリーズが出揃い、これから医療介護分野のDXを支えるべく、市場シェアの拡大に向けて更なるプロモーション活動を実施してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高12,491百万円（前年同期比20.3%増）、営業利益2,113百万円（同80.3%増）、経常利益2,457百万円（同39.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,644百万円（同31.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(調剤システム事業)

調剤システム事業につきましては、オンライン資格確認システムの導入設置拡大及び「MAPs for PHARMACY」、既存システム販売件数の増加により、初期売上高及びお客様数の増加に伴う課金売上高も増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の調剤システム事業は、売上高9,975百万円（前年同期比24.4%増）、営業利益2,370百万円（同98.0%増）となりました。

(医科システム事業)

医科システム事業につきましては、全国的な販売チャネルの拡充を図るべく、クリニックの市場開拓を従来手法に加え、Webマーケティングを活用し幅広いアプローチを行っております。

オンライン資格確認システムの導入設置拡大により初期売上の増加に加え、「MAPs for CLINIC」などの導入による課金お客様数の着実な増加により、課金売上高も順調に伸びております。一方、医科システム市場におけるシェア拡大に向けた取り組みにより、販管費も増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の医科システム事業は、売上高1,623百万円（前年同期比13.7%増）、営業損失210百万円（前年同期営業利益20百万円）となりました。

(介護/福祉システム事業)

介護/福祉システム事業は、ライセンス数の増加による課金売上は堅調に推移しておりますが、前年同期に大型案件の受注があったため、初期売上高は減少しました。また、「MAPs for NURSING CARE」の発売に伴う減価償却を開始したと共に、販売拡大に向けた取り組みにより、販管費も増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の介護/福祉システム事業は、売上高401百万円（前年同期比6.7%減）、営業損失33百万円（前年同期営業損失35百万円）となりました。

(その他の事業)

子会社におけるキャッシュレス事業の拡大により、売上高は増加しました。また、薬局事業においては新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売上高及び営業利益は共に減少しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間のその他の事業は、売上高528百万円（前年同期比1.6%増）、営業損失35百万円（前年同期営業損失33百万円）となりました。

(上記セグメント別の売上高及び営業利益（損失）は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は12,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは主に、法人税等の還付によりその他流動資産が51百万円、受取手形及び売掛金が54百万円それぞれ減少した一方、現金及び預金が63百万円増加したことによるものであります。固定資産は12,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円増加いたしました。これは主に、株式会社グッドサイクルシステムの株式取得等により投資有価証券が623百万円増加した一方、「MAPs for NURSING CARE」のリリース等に伴いソフトウェアが122百万円増加するとともにソフトウェア仮勘定が233百万円減少し、投資不動産の償却費が163百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は25,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ235百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,911百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円減少いたしました。これは主に、納付により未払法人税等が183百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,929百万円となり、前連結会計年度末に比べ113百万円増加いたしました。これは主に、リース債務が73百万円、退職給付に係る負債が47百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,840百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は19,203百万円となり、前連結会計年度末に比べ377百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,644百万円計上した一方、配当金の支払が781百万円、自己株式の取得が499百万円あったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.3%(前連結会計年度末は75.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期通期の連結業績予想については、2022年8月9日の「2022年12月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,289	8,353
受取手形及び売掛金	2,555	2,501
商品及び製品	688	674
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	1,040	988
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	12,574	12,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	604	578
土地	474	474
リース資産(純額)	4	106
賃貸用資産(純額)	2	1
建設仮勘定	72	71
その他(純額)	174	149
有形固定資産合計	1,333	1,382
無形固定資産		
ソフトウェア	1,393	1,515
ソフトウェア仮勘定	732	498
のれん	285	212
その他	109	101
無形固定資産合計	2,521	2,328
投資その他の資産		
投資有価証券	677	1,301
投資不動産(純額)	6,733	6,569
退職給付に係る資産	29	31
その他	955	925
貸倒引当金	△15	△11
投資その他の資産合計	8,380	8,816
固定資産合計	12,234	12,527
資産合計	24,809	25,044

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	852	900
未払金	465	519
リース債務	4	36
未払法人税等	663	480
賞与引当金	403	429
ポイント引当金	4	—
契約負債	—	973
その他	1,773	571
流動負債合計	4,167	3,911
固定負債		
リース債務	1	74
退職給付に係る負債	1,039	1,086
製品保証引当金	50	22
長期預り保証金	724	745
固定負債合計	1,815	1,929
負債合計	5,983	5,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,785	2,785
資本剰余金	3,347	3,347
利益剰余金	14,116	14,949
自己株式	△1,539	△2,039
株主資本合計	18,708	19,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	2
為替換算調整勘定	69	114
退職給付に係る調整累計額	△49	△38
その他の包括利益累計額合計	19	78
新株予約権	55	55
非支配株主持分	42	27
純資産合計	18,826	19,203
負債純資産合計	24,809	25,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	10,386	12,491
売上原価	5,367	6,230
売上総利益	5,018	6,260
販売費及び一般管理費	3,845	4,147
営業利益	1,172	2,113
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	190	—
不動産賃貸収入	754	783
その他	7	12
営業外収益合計	953	798
営業外費用		
支払利息	0	4
不動産賃貸費用	349	307
持分法による投資損失	—	132
その他	14	10
営業外費用合計	363	454
経常利益	1,762	2,457
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,760	2,457
法人税等	522	828
四半期純利益	1,237	1,629
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,251	1,644

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,237	1,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	2
為替換算調整勘定	24	45
退職給付に係る調整額	15	10
その他の包括利益合計	39	58
四半期包括利益	1,277	1,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,290	1,702
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。